

総合的な学習の時間学習指導案

令和5年10月18日(水)第6校時

3年D組 40名

指導者 羽田野 直樹

1 単元名 附中 2030Project

～SDGsから考える、2030年、多様性への理解が当たり前になった未来とは～

2 単元設定の理由

(1) 学習者について

- ・多様性が実現された社会においては、様々な環境で暮らす人がいることを理解すること、自分と他の人々との個性、置かれた状況の違いを理解し、認めることが必要だということを学んでいる。また、多様性への理解について、決して日本が進んでいるわけではなく、途上国などでも日本よりも進んだ国がたくさんあるということを理解している。
- ・多様性の実現に向けて必要な事柄について、インターネットの情報や文献等を用いて調べ、まとめ、発表する活動を行っており、他者に分かりやすく伝えるためにはどのようにまとめたらいのか、分かりやすい発表はどのようなものかを考えながら準備し、発表を行う活動を行ってきた。その中で、自分たちで課題を設定し、情報を集める力は身に付いてきている。整理・分析して、まとめ・表現を行う活動についても行ってきたが、今後も経験が必要である。
- ・課題設定を行ったり、課題解決に向けて活動したりする班活動の中で、分担して調査活動を行ったり、フィリピンとのオンライン交流の中で、相手との調整役や質問する役、まとめる役など自分たちで役割を決定して活動している。

(2) 教材について

- ・自分たちが選んだ SDGsの達成すべき目標項目について、その1項目の中にも様々な視点があり、多様性への理解が実現された社会を目指していくうえで、それぞれの国や地域、人々の置かれている状況に応じて課題が違ふことを理解することができる教材である。また、様々な視点から考えることによって、自分たちでまとめるために、分類・分析などの必要性が生まれる教材である。
- ・SDGsの達成すべき目標項目である1項目について、さまざまな視点から考えることによって、他者との意見交流の中から生まれた考えの隔たりを利用し、自分なりの考えをまとめ、相手に分かりやすく伝えるために、情報を分類したりそれらを分析したりするなどし、様々な方法を組み合わせることによって表現することを目指すことのできる教材である。
- ・世界の様々な状況に目を向けることやまだ見ぬ未来を想像しながら学習を行うことによって、見通しをもつことの重要性を考えることができ、未来の自分たちのあるべき姿について関心をもちやすい教材でもある。

(3) 指導について

- ・生徒たちを中心に学級が選んだ項目について、今現在の問題点、解決方法、一人一人ができること、解決した後の未来(2030年)を考えることによって、問題の本質についてしっかりと考えさせる指導を行っていきたい。また、思いを伝えるために必要な技法については、講師を招聘し、教授していただく。
- ・問題解決のために、自分たちならばどのように行動するべきかということを生徒たちに考えさせる中で、まだ見ぬ理想的な未来のためにできることに対する判断力を身に付けさせていきたい。
- ・海外の生徒とのオンライン交流、動画による提言などを行うことによって、SDGsの1項目達成に向けて自分たちにはどのようなことができるのか、意欲的に考えるとともに、そのための活動を通して協働的に役割を果たそうとする態度を養いたい。

3 単元の目標および評価規準

2030年までに実現されるべき未来について、SDGsの項目に関連させて考えたり、それをモチーフにしたドラマ風の動画を制作したりする活動を通して、理想の未来実現のために自分たちができる行動を考えるとともに、課題解決に向けて自らも主体的に行動する力を身に付ける。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①持続可能な社会にしていくために、それぞれの国や地域によって異なった課題があることを理解している。</p> <p>②理想の社会についての考えを伝えるために、必要な動画作成についての技法を理解している。</p> <p>③探究活動の中で仲間と意見を交流しながら活動することの良さについて理解している。</p>	<p>①持続可能な社会にしていくために、解決すべき課題を見出している。</p> <p>②持続可能な社会を目指した情報を効率的に収集している。</p> <p>③持続可能な社会にしていくために自分たちが考えたことを、より分かりやすく伝えるために、課題を焦点化し、発信する内容を分析し、整理している。</p> <p>④持続可能な社会を目指すために必要なことについて、自分たちで調べたことをまとめ、相手に伝わるように表現しようとしている。</p> <p>⑤持続可能な社会を目指すために必要なことについて、学習したことを振り返ることができている。</p>	<p>①他者とのかかわりを通して、自分の役割を見出そうとしている。</p> <p>②理想の社会についてイメージをもち、そのために自分が今をどう生きるべきか考えている。</p> <p>③情報を収集したり、整理・分析・まとめを行ったりする場面で、仲間と協働しながら課題を解決しようとしている。</p> <p>④理想の社会について仲間がどのように考えているのか、理解しようとしている。</p> <p>⑤理想の社会実現のために、自分が社会とどのように関わり、どのような役割を果たすべきか考えようとしている。</p>

様式2 指導と評価の単元計画

Ⅱ期「多様性への理解が当たり前になった未来とは」					
小単元名(時数)	ねらい・学習活動	評価規準			評価方法
		ア知・技	イ愚判表	ウ態	
附中 2030project ～SDGs から考える 2030 年, 多 様性が当たり前になった未来とは ～(6)	附中2030ProjectⅡ期の方向性を知り, 課題を設定する。 動画撮影について, 班を編成し役割分担を 行う。			①	ワークシート 行動分析
	GT による講演を聞き, 動画撮影のポイント を学ぶ。	②			ワークシート 行動分析
	動画のアイデアをブレインストーミングで出 し合い, 整理し, イメージを共有する。	①	①		ワークシート 行動分析
	動画のテーマについて, 情報収集と未来予 測を行い, 今後の自分たちの目指すべき行 動について考える。			②	ワークシート 行動分析
	絵コンテ・脚本を制作する。			③	ワークシート 行動分析
	絵コンテ・脚本を学級で深め, 今後の活動 の見通しをもつ。			③	ワークシート 行動分析
附中3年生から, SDGs達成に向け てのドラマ風動画を制作しよう (12)	絵コンテ・脚本をもとに動画の撮影を行う。			①	ワークシート 行動分析
	GT による講演を聞き, 動画撮影のポイント ②を学び, 自分たちの計画をブラッシュアッ プする。	②			ワークシート 行動分析
	ブラッシュアップした計画をもとに, 動画の 撮影・編集を行う。	②			ワークシート 行動分析
	動画の内容を用いて, 深く考えてもらうため の提言を考える。(本時)			③	ワークシート 行動分析
	前時の活動をもとに, 動画の撮影・編集を 行い, 再構成をする。	③	④		ワークシート 行動分析
取組を振りかえろう(6)	全学年で各クラスの動画を見る。 審査を行い, 優秀作品を表彰する。			④	ワークシート 動画
	マレーシアとのオンライン 多様性を認めることの大切さについてのイ ンタビュー学習			⑤	ワークシート
	動画を視聴した人からの反応をもとに, 取 組の振り返りをおこなう。			⑤	ワークシート

①・・・形成的評価。記録に残さず, 学習者の達成度を確認し, 授業や単元計画の調整を行うための評価。

①・・・総括的評価。記録に残し, 成績に反映させる評価。

【努力を要する状況(C)に対する手立て】

- ・他者や他のグループの意見を参考にさせる。
- ・まとめたい情報や伝えたい内容などをどのようにまとめることができるかヒントを与える。
- ・内容をかみ砕いて説明したり, グループの中での役割の果たし方を助言したりする。

様式3 本時の指導

(1) 本時の位置づけ(17 / 24)

(2) 題材名 動画の問題提起について考えてもらうための提言を考える。

(3) 本時のねらい

動画に込めたメッセージを効果的に伝えるための提言を考える活動を通して、自分たちがもつ課題を焦点化し、考えたことを整理・分析する資質や能力を高める。

(4) 展開

時間	学習活動	学習内容及び指導上の留意点	評価
2	1 本時の学習内容を確認する。 動画のメッセージをより深く伝えるために効果的な提言の内容について検討する。		
	めあて 動画のメッセージを効果的に伝えるための提言について考えよう。		
10	2 学級の動画に込めたメッセージについて再確認する。 動画実行委員が学級の動画に込めたメッセージを生徒の前で確認する。 提言とは何かの確認を行う。 「提言」…自分の考えを表すこと。 3 SDGsの項目達成のために、これからの自分や大人の人たちが考えるべきことについて検討する。	・事前に、動画実行委員と打ち合わせを行っておく。 ・前回のワークシートを参考にさせる。	
30	4 前時までと本時の3活で考えた内容をもとに、効果的な提言について、班ごとに検討する。 (1) 個人での検討を行う。 (2) 班での検討を行う。 5 班ごとに発表を行う。	・前回の内容を記入したワークシートをもとに、確認を行わせる。 ・教師は、班を巡回し、うまくいっていない班には助言を行う。 ・活動開始 10分ほどで、良い班の例を示す。 ・発表を聞きながら、メモをするようにさせる。	○持続可能な社会にしていくために自分たちが考えたことを、より分かりやすく伝えるために、課題を焦点化し、発信する内容を分析し、整理している。(ワークシートの記入、話し合い活動の観察)【思考・判断・表現】
8	6 ワークシートに本時の振り返りを記入する。	○ワークシートの振り返りを紹介し、今回出された意見や振り返りを基に、動画後の提言を完成させることを確認する。	

(5)「思考力・判断力・表現力」育成の指針

B	A
SDGsの項目達成の課題を明確にした上で、その理由付け、方法を示し、自分たちがやっていくべきこと、視聴者に考えてほしいことを記述している。	これまで学習した内容を踏まえて、SDGsの項目達成の課題を明確にした上で、その理由付け、方法を示し、自分たちがやっていくべきこと、視聴者に考えてほしいことを記述している。

板書計画

めあて 動画のメッセージを効果的に伝えるための提言について考えよう

学習の流れ

- 動画のメッセージの確認・共有
- 自分の考え
- 班での考え
- 発表
- 振り返り

学習の評価

- ・課題を焦点化できている。
- ・発信内容を分析し、整理している。

☆メッセージの内容を確認しよう。

活動1
項目達成のために、自分が、大人たちができることはどんなことだろう。

活動2
効果的な提言を考えよう。

- (1) 個人で考える
- (2) 班で考える

発表

ホワイトボードを10班分貼らせる。

振り返り

- ・
- ・
- ・
- ・